



## 犬山ロータリークラブ

# INUYAMA R.C.

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
国際ロータリー2021~2022年度テーマ

Rotary 第2760地区  
犬山ロータリークラブ

■会長：高橋 秀治  
■幹事：藤井 友喜  
■会報委員長：鈴木 敏之

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山1-4 犬山カンツリー倶楽部内  
電話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523  
U RL／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org  
例会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山1-4 犬山カンツリー倶楽部  
電話／0568-61-2281 毎週火曜日／12：30～13：30

### 第2852回 例会 (R3. 8. 24 火 曇り/雨 ☁️🌧️)

点 鐘 高橋 秀治会長  
R . S それでこそロータリー 四つのテスト  
ビジター ☆扶桑町長 鯖瀬 武 様  
幹事報告 藤井 友喜幹事



※近隣クラブはコロナ禍により、ほぼメーキャップ受付を  
されておられません

☆WEB 環境アンケートについて (※アンケート用紙配布)  
コロナ禍において例会開催が不透明な中、今後 WEB やハイブリッド形式の例会を検討しており、アンケートにてWEB 環境やご意向をお聞かせいただきたい。

☆地区大会のご案内  
先日、出席義務者へ案内配布。まだお返事されていない方はご出欠をお知らせ下さい

☆ロータリー財団確定申告用領収書  
20-21 年度にロータリー財団月間にていただいた寄付の確定申告用領収書が届き本日配布 (クラブ からの領収書は渡し済)

☆20-21 年度地区大会報告書  
20-21 年度地区大会報告書が届いたので登録されていた方に配布

☆第2回60周年実行委員会のご案内 (※案内配布)  
9月2日(木)12時30分より犬山 C.C.にて開催予定  
実行委員会委員長の皆様にはご出席をお願いします

出席報告 (宇佐美芳樹委員長)  
出席率 100% 会員 52名 (\*出席率は紙面での報告のみ)

祝 福 (近藤俊也委員長)

おめでとうございます!!

会員誕生日 岩間 信夫君 8月24日

在籍24年 板津 英基君 8月26日

御夫人誕生日

原 正男君夫人 好恵様 8月25日(結婚記念日10/11)



お誕生日おめでとうございます!!

在席おめでとうございます!!

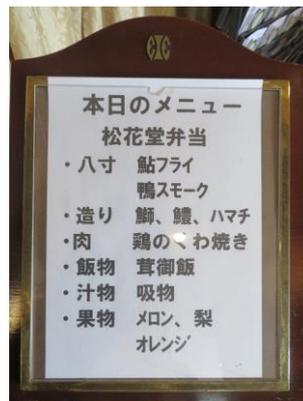
ニコボックス (岩間信夫委員長)

高橋秀治君 今日からパ・ラリンピックが始まります。金メダル目指しがんばれ日本!!

(同文にて) 加藤浩一君 藤井友喜君 保浦博志君  
岩間信夫君 本日誕生日です。節目の年の60才還暦を迎えました。今後とも宜しく願い致します。

板津英基君 在籍24年を喜んで!

福富孝弘君 扶桑町長 鯖瀬武様のご来訪を喜んで!  
(同文にて) 埴田惣一君 原正男君 日比野良太郎君  
井川光雄君 板津英基君 伊藤正久君  
岩間信夫君 河田敏和君 兒玉寿君  
近藤斉宏君 近藤俊也君 間森清二君  
松平實胤君 松山基邦君 丹羽敬昇君  
小川宏嗣君 小川誠君 小川征一君  
大原隆一君 岡田雅隆君 奥村正幸君  
大島匡博君 関矢正己君 朱宮新治君  
鈴木一成君 鈴木敏之君 田中進一郎君  
谷定貴之君 梅田佳和君 宇佐美芳樹君  
山田直廣君 山根雄司君 安田一生君  
安田新平君 吉田洋君





町の北側は木曾川が流れ、豊かな自然を感じることができる、閑静な住宅街であることが当町の魅力だと思います。

令和2年度の税収は約50億円です。多くの公共施設が今後建替の時期を迎えてきますが、大きな産業がありませんので、今後は収入の確保による健全な財政運営と人口減少に歯止めをかけられるよう町の魅力を高めていけるかが課題です。



次に、やはり新型コロナウイルス感染症については、触れない訳にはまいりませんので、扶桑町の状況をお話させていただきます。

まず、町内の感染者数ですが、8月23日までに報告されている人数が234人です。こここのところ感染者が急増しており、特に若い方、お子さんの感染が非常に多くなっていることが大変危惧される点です。

コロナ収束の最後の切り札と言われていたワクチン接種については、5月から年齢の高い方から順次開始しました。扶桑町中央公民館を会場にして集団接種を開始し、65歳以上の方は、1回目の接種を終えられた方が約93%、2回目の接種を終えられた方は約91%となっており、12歳以上全体での割合は、1回目の接種を終えられた方が約54%、2回目接種を終えられた方が約42%です。

現在は、町内医療機関での個別接種も併用で進めています。市町村が使用していますファイザー製のワクチンの供給量の関係で、今度は個別接種を主体に進めていく予定です。

また愛知県による県営名古屋空港大規模接種会場でも接種も行っています。延べ2,400人程が接種を受けられる見込みです。その他、職域接種も行われつつありますが、実施企業において接種済データのシステムへの入力が遅れており、正確な数値はまだ掴んでいない状況です。

ただ、町民の多くの方が2回接種を済ますまでには、11月まで掛かる見込みですので、もう暫くは、お一人お一人が感染予防意識を高め、自らの健康と命を守っていただくよう引き続きお願いしていきます。

次に、今後まちづくりを進めるに当たり、政策の基本としなければならないことや課題とされていることをお話させていただきます。

これは今更皆様方に申し上げるまでもありませんが、社会は驚くべきスピードで変化しているなど、つくづ

く感じるとともに、その変化について行政が適切に対応できているかという点、そう言い切れない部分が正直あります。

その一つが、デジタル化・インターネット環境の急速な進化です。

この分野で日本は諸外国に比べ遅れを取っているとされておりますが、それでも、いつでも、どこでも、誰もが瞬時に大量の情報を得ることが可能な社会が実現し、SNSによる人々の繋がり、キャッシュレス決済も社会に劇的な変化をもたらしています。

しかしその反面、その情報の真偽、道義性については各自が正しく判断することが重要で、かなり法整備や監視体制も進んできましたが、容易に誹謗中傷や犯罪のツールとなり、他人の人生をも脅かす一面もあります。

日本が立ち後れている現状は、行政においてもしかりであります。国もデジタル庁を立ち上げようとしていますので、デジタル庁が発足すれば自治体も急速に改革が進むと思われま

す。現在、国はマイナンバーカードを使い様々な行政サービスを行おうとしています。今後は、健康保険証としての利用や、デジタル化による住民サービスを向上させるための機能が充実していき、住民基本台帳や税システムの仕様を全国で統一していくことも決定していますので、役所に来なくても多くの行政手続きができる時代がまもなく来ると思

います。扶桑町も2月からマイナンバーカードを使った住民票と印鑑登録証明書のコンビニ交付を開始したところ

です。その他、昨年12月までに小学校・中学校の全児童・生徒さんに、タブレットを配置し、既に授業に使っています。今後は、未来のデジタル社会を担う子ども達を育てるため、いかに効果的な授業を行えるか教師のスキルを向上させていくことが課題です。

次に、脱炭素社会の実現に向けた動きです。

近年台風の大型化や大規模な水害が頻発しています。これをもたらしている気候変動と、二酸化炭素の大量排出との因果関係はもはや否定できないと考えるのが自然です。

昨年10月の菅総理大臣の2050年カーボンニュートラル宣言を受け、グリーン社会の実現に向けた転換は更に加速していくと思

います。化石燃料から自然エネルギーへの転換、再生可能エネルギーシステムの導入は、行政だけでなく社会全体にとって大きなコストではありますが、同時に新たな経済効果・ビジネスチャンスも生まれると言われてい

ます。しかし基本理念は、未来の子ども達のために地球環境を守ることであり、これは私達に課せられた当然の義務ですので、行政はこのカーボンゼロ社会の実現を積極的にリードしていかなければならないと考えてい

ます。また最近において大きく変化しているのが、個人情報

んでしたが、昨今では個人情報やプライバシー保護が重要視され、法規制・監視が強化されてきました。

行政から自治会等への個人情報の提供についても一定の範囲を超えることはできなくなり、防災や人命に関わる事件など、法令や条例に定める事項以外の個人情報を提供することについては難しいのが現状で、住民の方から見れば行政サービスの低下と非難されることもあります。

個人情報保護は町内自治会等も適用範囲とされ、自治会は個人情報の取得と適正管理に多くの労力を使わなければならなくなりました。

しかし、大規模災害発生時には自治会や地域の協力が無くては、住民の避難・救助活動は事実上困難ですので、行政は有事の際に必要な個人情報をいかに的確に災害現場で共有できるか、しっかりとシミュレーションしておく必要があります。

また、地域のコミュニティが希薄となった言われる中、個人情報を保護しつつ、地域の人々の連携を再構築していくことは、一人暮らしの高齢世帯が増加するなど、今後も進む高齢化社会において大きな課題であると思っています。

その他、働き方改革、ジェンダー問題など、価値観の変革、多様性、個性の重視へと現代社会に変化していますが、全ての人が個人として尊重され、息苦しくない生き方ができるような社会が求められていることを意識して、私どもは行政運営をしていかなければならないと思っています。

次に、扶桑町の令和3年度の事業等をご紹介します。

一つ目として、令和3年度・4年度の継続事業で、児童館建設を進めます。これまで扶桑町には児童館はありませんでしたが、子育て支援のさらなる充実、児童の健全育成のため、扶桑中学校の敷地の一部に建設します。

鉄骨造2階建てで延床面積は約1,200㎡。子育て支援の拠点となるよう、子育て支援センターを併設し、大規模災害時には小さなお子さん連れでも避難しやすい設備を設け、安心して子育てができる環境を整えていきます。

次に、新型コロナ対策として今年もプレミアム付商品券を発行します。予約はすでに締め切っていますが、プレミアム率50%で、1冊5,000円のセットを30,000セット販売します。今月27日（金）から引き替えを開始し、9月1日から12月末日まで使用できます。

昨年がプレミアム率20%で20,000セットでしたので、長引く新型コロナの影響により多くの事業所で厳しい経営状況が続く中、町内の消費喚起と町民の方への経済支援を図れるものと考えています。

その他の新型コロナ対策として、テレワークの推進・ITビジネス導入の為に機器の購入補助を、補助率10分の9、上限30万円で行っており、感染防止対策を講じる為の物品購入補助も上限10万円で行っています。

また、町の単独事業ではありませんが、岐阜県各務原市と結ぶ（仮称）新愛岐大橋の建設が進められてい

ます。また国道41号線の片側3車線化の工事も扶桑町区域に入ってきました。

どちらも完成までには、まだ数年かかる見込みですが、町の活性化、企業誘致など産業振興のチャンスと捉え、将来に向けてのまちづくりに活かしていきたいと考えています。

最後に、扶桑町は来年度（令和4年度）で、町政施行70周年を迎えます。今年はその準備の年として、今年から町の花である「ひまわり」を町中で咲かせようと、社会福祉協議会やNPOと共同でミニひまわりの種の配布・販売を行ってきました。

「やろまい扶桑」制作による新曲「おいでよ ふそう」が出来上がっており、町民が皆で踊れる振り付けも出来ていますので、まもなくお披露目できると思います。

来年度は新型コロナを収束させ、町民全員で町政施行70周年を祝うことができるような明るい企画を考えていきますので、皆様方もご協力いただければ幸いです。

結びに、厳しい財政状況の中ではありますが、コロナ禍にある住民の方の生活を支援し、安心して暮らせる町、『みんなの笑顔がかがやくまち 扶桑町』を創ってまいりたいと思いますので、引き続き皆様からのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。



### ＝お礼の言葉（高橋秀治会長）＝

本日はコロナが大変な時期にわざわざ例会にお出向きいただき、また有意義な卓話を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。

